

香川大学で公開講座を実施

(ブランディング)

12月12日（木）から1月23日（木）の毎週木曜日に、香川大学大学院地域マネジメント研究科（ビジネススクール）で、公開講座「地域活性化と観光創造」（計5回）を実施しました。本講座は当機構の提供講座として開講しており、毎回、四国で活躍する観光に携わる方々を講師にお招きして地域の現状や課題などをお話いただくことで、受講者に観光振興の重要性と課題解決方法を学んでいただくことを目的に実施しています。

オンラインでの聴講も可能で、北海道から長崎県までの四国外の方々にも聴講していただきました。

また、講義後には、講師の方々と大学院生とのディスカッションの時間もあり、学生の皆さまからは講演の内容を深掘りして何うことができたかと好評をいただきました。

(実施日・講師・講義テーマ)

2024年12月12日（木）

一般社団法人小豆島観光協会
事務局長 塩出 慎吾 氏
観光により持続できる島を目指して



2024年12月19日（木）

道後温泉旅館協同組合
理事長 奥村 敏仁 氏
道後温泉本館保存修理工事と
全館営業再開について



2025年1月9日（木）

一般社団法人そらの郷
常務理事兼事務局長 日下 敏嗣 氏
にし阿波の観光地域づくりについて



2025年1月16日（木）

一般社団法人三豊市観光交流局
チーフマネージャー 石井 紫 氏
MITOYO 世界に誇れるまちづくり



2025年1月23日（木）

一般社団法人幡多広域観光協議会
事務局長 三浦 治 氏
しまんと・あしずりエリアの観光振興
～自然と生きる。自然に生きる「はた時間」～



香川大学ビジネススクール公開講座
Regional Vitalization and Tourism
地域活性化と観光創造

本講座は一般社団法人四国ツーリズム創造機構・四国経済連合会の提供講座です。
地域活性化について観光の観点から考えていきます。地域における観光創造活動のためには、地域が有する自然資源、文化資源、人的資源などを積極的に活用し、地域社会における公共的価値を創出することが求められます。
本講座では5名のゲスト講師をお迎えし、地域の観光を推進する事業の現状と課題を明らかにし、観光振興の重要性を高めるとともに課題解決方法を学ぶことができます。

◆参加方法
対面（定員30人）または オンライン（Zoom）
◆開催日時
12/12、12/19、1/9、1/16、1/23（全て木曜日）
18:20～19:50
◆受講料：無料
◆場所：香川大学豊前キャンパス
又待記念館1階 特別講義室
オンラインの場合はZoom

<p>12/12 (木)</p> <p>観光により持続できる島を目指して</p> <p>塩出 慎吾 氏 小豆島観光協会 事務局長</p>	<p>12/19 (木)</p> <p>道後温泉本館保存修理工事と全館営業再開について</p> <p>奥村 敏仁 氏 道後温泉旅館協同組合 理事長</p>
<p>1/9 (木)</p> <p>にし阿波の観光地域づくりについて</p> <p>日下 敏嗣 氏 そらの郷 常務理事兼事務局長</p>	<p>1/16 (木)</p> <p>世界に誇れるまちづくり</p> <p>石井 紫 氏 三豊市観光交流局 チーフマネージャー</p>
<p>1/23 (木)</p> <p>しまんと・あしずりエリアの観光振興 ～自然と生きる。自然に生きる「はた時間」～</p> <p>三浦 治 氏 幡多広域観光協議会 事務局長</p>	<p>申し込み方法： こちらのQRコードから お申し込みください</p> <p>対面 オンライン</p>

問い合わせ：香川大学 大学院 地域マネジメント研究科 共同研究室
〒760-8523 香川県高松市南町2-1 TEL: 087-832-1955 FAX: 087-832-1900 E-mail: contact@bukagawa-u.ac.jp

<公開講座の案内チラシ>



<講義の様子>

各回、18時20分～19時50分（90分間）

受講者数 合計 157名

四国へのインバウンド誘客推進に向けた専門人材育成セミナーを実施

(ブランディング)

1月10日（金）、四国経済連合会との共催で「四国へのインバウンド誘客推進に向けた専門人材育成セミナー 第2回」を実施しました。

本セミナーでは、前回の第1回セミナーに引き続き、ファシリテーターに Jun PAGE 氏（株式会社 ZEPHYROS 代表取締役）と 菅 宏司 氏（かずがいジャパン株式会社 代表取締役）をお招きして、「四国にゴリラは居るか？～外国人観光客を虜にする観光コンテンツを作ってみよう～」と題して、観光コンテンツの開発に向けたワークショップを中心に実施しました。

今回のワークショップでは、「瀬戸内海」をテーマに、商品（モノ、コト）を企画するチームと事業（コンセプト、物語）を企画するチームに分かれて、ファシリテーターからのアイデア出しのヒントなども参考にしつつ、参加者が意見を出し合ってサービスの設計やコンテンツの造成、ストーリーの構築などを行いました。

今年度実施した2回のセミナーを通じて、参加者の皆さまには、四国には世界の観光客を魅了する手つかずの「本物」「ダイヤモンドの原石」が数多く存在すること、今後はそれらを活かすために、点と点をつなげるストーリーを築き上げるなどして観光コンテンツを磨きあげていくことが一層重要になることを再認識していただくとともに、観光コンテンツの磨き上げに必要となる視点や方法について体感していただきました。

（実施日時）2025年1月10日（金）14:00～17:00

（実施場所）情報通信交流館 e-とびあ・かがわ（香川県高松市）

（参加者）当機構会員や観光関係機関など 26 名 ※四経連及び機構職員除く。

（機構参加者）半井代表理事、桑村本部長、松本統括副本部長、神野副本部長 ほか 8 名



<セミナーの様子①>



<セミナーの様子②>



<セミナーの様子③>

2024年度 四国ツーリズム創造機構第3回意見交換会を開催

(ブランディング)

1月14日（火）、愛媛県松山市で、協賛会員、顧問、愛媛県内の会員の皆さまと意見交換会を開催しました。意見交換会では、当機構が取り組む全32事業のうち、22事業の進捗状況について説明させていただきました。また、協賛会員の四国4県のご出席者から、各県での取り組みなどをご共有いただきました。

意見交換会に引き続き開催した交流会では、会員の皆さまとより具体的な意見交換を行い、さらなる四国の観光振興に向けて、取り組んでいくことを再確認いたしました。

（実施日時）2025年1月14日（火） （実施場所）道後温泉 ふなや（愛媛県松山市）

（参加者）意見交換会59名、交流会46名 ※機構職員を除く

（機構参加者）半井代表理事、桑村本部長ほか7名 ※代表理事は交流会のみ参加

次ページに続く

今年度3回にわたって意見交換会を開催しましたが、意見交換会の運営方法について、会員の皆さまからいただいたご意見を参考にしながら、来年度はより有意義な会議となるよう検討してまいります。



<意見交換会の様子>



<交流会の様子：代表理事挨拶>

令和6年度 地域周遊・長期滞在促進のための専門家派遣事業の交流会に出席

(ブランディング)

当機構が四国「持続可能な観光」推進ネットワークの取り組みの一環で、「令和5年度 広域周遊促進のための専門家派遣事業」(観光庁事業)を活用して実施した、地域の「持続可能な観光」推進への機運醸成を目的としたワークショップ(徳島県美波町、高知県四万十市で実施)が好事例として選定され、観光庁が主催する交流会(※)に出席し、当機構の取り組みについて、出席された専門家の方々に事例発表をさせていただきました。

※「令和6年度 地域周遊・長期滞在促進のための専門家派遣事業」の一環で開催されたものです。

(開催日時) 2025年1月14日(火) 16:00～17:30

(開催場所) 中央合同庁舎2号館(東京都千代田区)

(参加者) 観光庁職員及び同事業登録専門家 50名

(機構参加者) 竹内チームマネジャー、清水CMO



<事例発表の様子>

データ・マネジメント・プラットフォーム(DMP)活用推進に向けた意見交換会を実施

(ブランディング)

当機構のブランディング戦略のひとつである「データ・マネジメント・プラットフォーム(DMP)」の活用を推進するため、当機構会員、顧問、県観光協会、四国内DMOを対象とした「DMPの活用推進に向けた意見交換会」を四国4県で実施しました。

意見交換会では、当機構がDMPのダッシュボード制作などを委託する(株)ヴァリューズの担当者から、現在利用できるダッシュボード上のデータの内容や活用方法、今後追加予定のデータなどについて紹介させていただいた後、グループに分かれて、普段の業務でのデータの活用状況や具体的な施策への活かし方、求める観光データなどについて意見交換を行いました。なお、今回の意見交換でいただいたご意見などについては、集約して、3月上旬頃にオンラインでフィードバックさせていただく予定としております。

(実施日 / 実施会場 / 参加者)

徳島会場 … 2025年1月23日(木) / 阿波銀行本店営業部 3階 コワーキングスペース / 7名

香川会場 … 2025年1月24日(金) / サンポートホール高松 54会議室 / 16名

愛媛会場 … 2025年1月30日(木) / えひめ共済会館 4階 会議室「豊明」 / 14名

高知会場 … 2025年1月31日(金) / 高知城ホール 2階 中会議室 / 20名

次ページに続く

(機構参加) 清水CMO、井上マネジャー、長谷部チームマネジャー (※)、藤井マネジャー (※)

※香川会場のみ



<徳島会場の様子>



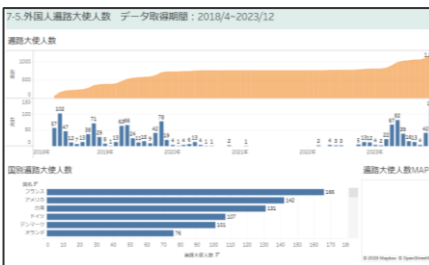
<香川会場の様子>



<愛媛会場の様子>



<高知会場の様子>



<DMPのダッシュボードの一例>

DMPは当機構の会員さまは無料でご利用いただけます。[こちら](#)または下記二次元コードからご利用ください。なお、ご利用の際のユーザー名及びパスワードは、ご案内しておりますものをご利用ください。

ご不明の場合は、別途お問合せください。



新春 ぐるっと四国めぐりフェアを実施

(マーケティング)

1月18日(土)、19日(日)の2日間、JR大阪駅に直結するショッピングセンター「KITTE大阪」で、四国4県物産担当課合同による大阪・関西万博開幕100日前イベント「新春 ぐるっと四国めぐりフェア」を実施しました。

会場には、四国各県の県産品販売ブースや四国の観光PRブース、2025日本国際博覧会協会のブースが設置され、四国の特産品や観光PRなどを行いながら、四国エリアのファンや来訪者の拡大を図りました。

引き続き、首都圏や関西圏など、県外の四国4県の事務所などと連携しながら、四国の魅力発信と誘客拡大に向けた各種イベントなどを協力して実施してまいります。

(実施日) 2025年1月18日(土)、19日(日)

(実施場所) KITTE大阪 2階 イベントブース (大阪府大阪市)

(機構参加者) 松本統括副本部長、長谷部チームマネジャー
別宮マネジャー



<イベントのチラシ>



<フェアの様子①>



<フェアの様子②>



<フェアの様子③>

(一社) 日本旅行業協会中四国支部 賀詞交換会に出席

(その他)

1月17日（金）、一般社団法人日本旅行業協会中四国支部の賀詞交換会に出席しました。濱口支部長の挨拶では、大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭2025などに併せ、国内外から中四国地方への誘客に旅行会社として推進していくことや、航路維持のためにも日本人向けの海外旅行商品の販売に注力する旨、述べられていました。

(開催日) 2025年1月17日（金）

(開催場所) ANAクラウンプラザホテル広島（広島県広島市）

(機構参加者) 桑村本部長



<賀詞交換会の様子>

新年挨拶訪問

(その他)

1月21日（火）、半井代表理事、桑村本部長、松本統括副本部長と各社出向者で、当機構に職員を出向していただいている株式会社JTB、日本航空株式会社、ANAあきんど株式会社、株式会社日本旅行のほか、観光庁及び日本政府観光局（JNTO）に、1月24日（金）には、本州四国連絡高速道路株式会社に、新年のご挨拶にお伺いしました。

代表理事から当機構の事業推進にご協力いただいているお礼や、当機構の事業展開、四国遍路の取り組みなどを説明させていただいた後、各社の取り組みなどについて意見交換させていただきました。

引き続き、情報交換を密に行いながら、関係団体と連携して四国への誘客促進に取り組んでまいります。

(訪問日 / 訪問先 / 訪問者(※))

※半井代表理事、桑村本部長、松本統括副本部長は全てに訪問

2025年1月21日（火）

日本航空株式会社 / 松本チームマネジャー、株式会社JTB

ANAあきんど株式会社 / 竹内チームマネジャー、株式会社日本旅行 / 長谷部チームマネジャー

観光庁、日本政府観光局（JNTO）

2025年1月24日（金）

本州四国連絡高速道路株式会社 / 鎌田チームマネジャー



<日本航空株式会社>



<株式会社JTB>



<日本政府観光局（JNTO）>



<株式会社日本旅行>



<観光庁 桜川長官>

The New York Times 日本特集記念レセプションに出席

(その他)

1月24日（金）、The New York Times（以下、NYT）の日本特集「[JAPAN TRAVEL SERIES BEHIND THE VEIL](#)」の公開を記念して開催されたレセプションに出席しました。今回の日本特集では、日本の知られざる魅力を伝えることをテーマに、7団体が8本の記事を掲載し、当機構からは四国遍路の魅力を紹介する記事（※掲載記事は下記のとおり。）を掲載しました。

レセプションでは、NYTのアジア太平洋地域ビジネス営業統括責任者であるJorge Noguchi氏の挨拶の後、特集の制作チームから、それぞれの記事をご紹介いただきました。その後、NYTの日本代理店であるシナノインターナショナルや、記事を掲載した各団体・広告関連会社の皆さまとも交流を深めました。

【The New York Times記事】

[A Sacred Journey Making the Shikoku Pilgrimage With a Sendatsu](#)

先達へのインタビューを中心に、四国遍路の魅力をご紹介しています。



（開催日時）2025年1月24日（金）（開催場所）日本外国特派員協会（東京都千代田区）

（機構参加者）松本チームマネジャー、大上マネジャー



< Jorge Noguchi氏の挨拶 >



< 制作チームのプレゼンテーション >

瀬戸内クルーズシンポジウムに参加

(その他)

1月24日（金）、日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）主催、四国経済連合会共催の「瀬戸内クルーズシンポジウム」に参加しました。

香川県の池田知事と四国地方整備局の森次長の挨拶の後、3名の有識者による基調講演が行われ、瀬戸内海を世界的なクルーズエリアにするための取り組みや、クルーズ振興に向けた瀬戸内海クルーズ推進会議の取り組み、瀬戸内クルーズネットワーク構想などについての紹介がありました。

また、後半には、大阪大学大学院教授の赤井氏のコーディネートによるパネルディスカッションが行われ、小豆島の大江町長や香川県交流推進部の多田部長など5名のパネリストが、瀬戸内クルーズの可能性や振興策について議論を交わしました。

（実施日時）2025年1月24日（金）

13:30～16:30

（実施場所）サンポートホール高松第1小ホール（香川県高松市）

（機構参加者）神野副本部長、別宮マネジャー、佐伯マネジャー



< シンポジウムの様子 >

奥道後壱湯の守 別邸坪中川 内覧会に参加

(その他)

1月30日（木）、当機構会員である奥道後壱湯の守さまが実施した「坪中川」の内覧会に参加しました。この「坪中川」は、東京の赤坂から移築した「料亭中川」を、このたびロイヤルスイート棟貸宿泊棟として2月にオープンされるものです。一日一組限定で贅沢を味わうことができる、まさに特別な空間でした。

観光の高付加価値化が求められるなか、引き続き、当機構としても、四国内の魅力あるコンテンツを発見して発信してまいります。

(開催日)

2025年1月30日（木）

(開催場所)

奥道後壱湯の守

(愛媛県松山市)

(機構参加者)

佐伯マネジャー



< 愛媛県中村知事 >



< 庭園からみた坪中川 >

四国家サポーターズクラブ 2024年度総会に参加

(その他)

1月31日（金）、高松市で「四国家サポーターズクラブ」（以下、四国家SC）の2024年度総会に参加しました。

四国家SCは、四国の地域経済の発展に貢献するため、四国の地域振興・観光振興に志を持つ企業や団体等が集い、協働して賑わいを創出することで、四国地域の活性化に取り組もうとの趣旨で2021年3月に活動をスタートし、現在では131社の企業・団体が加入しております。また、名称には「四国が一つの大きな家族になれば」という思いが込められています。

総会では、四国家SC共同代表である当機構の半井代表理事（※総会は四国旅客鉄道株式会社相談役として出席。）からの挨拶の後、同クラブのプロジェクト報告として、丸亀にぎわいプロジェクト、一日一斉おもてなし遍路道ウォークなどの活動について報告がありました。

また、株式会社今治・夢スポーツ代表取締役会長の岡田様から「チームマネジメント～今治からの挑戦～」の演題について、豊富な経験を踏まえたマネジメントの在り方についてご講演をいただきました。

(開催日) 2025年1月31日（金）

(開催場所) JRホテルクレメント高松（香川県高松市）

(機構参加者) 桑村本部長、神野副本部長、別宮マネジャー



< 総会の様子 >

今月のオウンドメディア情報等

(清水CMOからの情報)

日本政府観光局（JNTO）によると、2024年10月の訪日外国人旅行者数（推計値）が約3,019万2,600人（2019年比12.2%増）で、統計開始から過去最速で年間累計3,000万人を突破するなど、インバウンドの回復が顕著となっています。そこで、先月に引き続き、今回はタイ市場の概況をご紹介します。



【タイからの四国述べ宿泊者数（月別）】 出典：観光庁「宿泊旅行統計」（2023年10月～2024年9月）

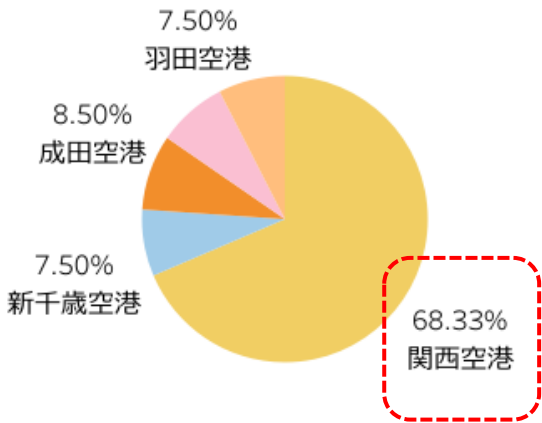


【タイの主な祝日及び休暇（一部）】

ソンクラーン(水かけ祭り・タイ旧正月)	4月13日～4月16日
学校の長期休暇	4月上旬～5月中旬、10月上旬～10月末（6～18歳）

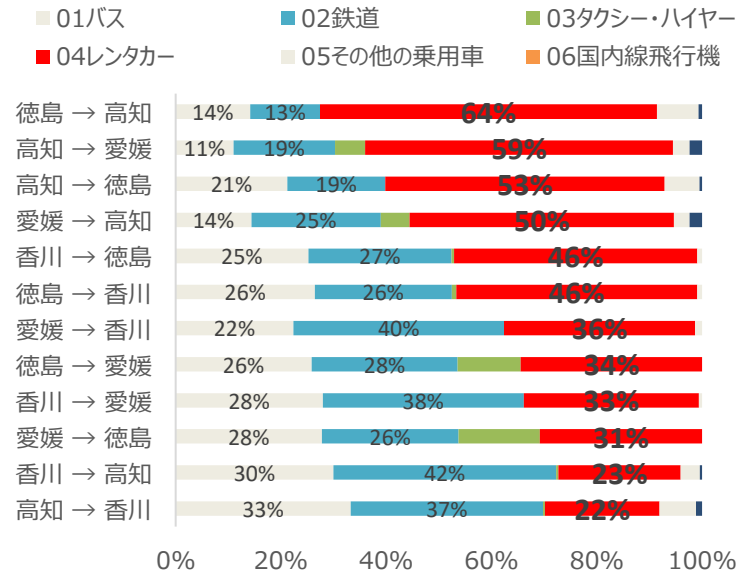
- ・ タイからの訪日客が多いのは全国的に3月、4月、10月、12月で四国も同様の傾向。
- ・ 学校の長期休暇を加味すると、特に4月はファミリー層の来訪が期待できます。

【四国旅行者の入国港】



出典：観光庁「FF-Data（訪日外国人流動データ）」（2019年）
※当機構DMPを利用して作成（上図、右図）

【四国旅行者の四国内交通手段】



- ・ 2019年のデータにはなりますが、関西国際空港からの来訪が最も多く、四国への定期航路やチャーター便（※）がない現状を踏まえると、今後も関西などを含む広域での訴求が必要と考えられます。
※なお、2025年3月に高松空港で28年ぶりとなるチャーター便運航が予定されています。
- ・ 四国内の県間移動は、香川-高知、香川-愛媛間を除いて、レンタカーの利用が最も多くなっています。

次ページに続く

当機構では、昨年11月に、タイ旅行会社へのセールス活動とJNTOバンコク事務所での意見交換を実施しており、その際、誘客方法として「インセンティブ旅行」や「レンタカー旅行」のニーズを多くいただきました。

インセンティブ旅行については、工場見学などの視察的要素が強い内容よりも一般的な観光地を巡る要素が強い内容のものが好まれ、団体受入が可能な飲食店や宿泊施設の情報が不足しているとのこと。

また、レンタカー旅行については、JNTOからFITへの訴求の観点から重要であるとのことをご意見をいただくとともに、旅行会社からは、おすすめのモデルコースの情報が欲しいとのことをご意見をいただきました。

レンタカー旅行については、以下のとおりJNTOタイのHPでも紹介されています。

【JNTOタイのHPで掲載されている四国レンタカーモデルコース例】 ※日本語に翻訳して表示

HPはこちらから
ご覧いただけます



【JNTOタイの上記ページで紹介されている予約サイト例】 ※日本語に翻訳して表示

予約サイトは
こちらからご覧いただけます →
※ ホームページ分析ツールによる
↓ レンタカー予約サイト閲覧状況



国	トラフィックシェア	変化
台湾	25.96%	↑ 12.53%
香港	20.55%	↑ 49.51%
日本	17.70%	↓ 7.42%
タイ	13.23%	↑ 19.51%
アメリカ合衆国	10.49%	↑ 79.81%

- ・ レンタカー旅行のニーズを受け、JNTOタイでもHP上で四国のモデルコースを紹介しています。
- ・ JNTOのページで紹介されているレンタカー予約サイトでは、タイからの閲覧者の増加が確認できます。
- ・ 上記レンタカー予約サイトでは、[山陰・瀬戸内・四国エクスプレスウェイパス](#)（※）などの、外国人旅行者を対象とした高速道路の定額乗り放題ドライブパスなどの紹介は確認できませんでした。今後、ドライブパスなどの商品を併せて紹介していくことで、より効果的に訴求していくことができると考えられます。

※ San'in-Setouchi-Shikoku Expressway Pass (SEP)

- ・ なお、当機構のオウンドメディアでは、「祖谷のかずら橋」、「金刀比羅宮」、「栗林公園」、「四国まんなか千年ものがたり」など、香川県と徳島県の有名どころのコンテンツが多く閲覧される傾向にあります。これは、四国外（特に関西方面）だけでなく、四国のメジャーところにも少し立ち寄りたい（または実際に立ち寄っている）層が一定数いることを示唆するものと考えられます。

引き続き、当機構ではインセンティブ旅行やレンタカー旅行なども訴求し、四国内周遊を喚起してまいります。



代表理事の主な動静

- 1月6日(月) 定例会議・推進会議(当機構の会議)
- 10日(金) 四国へのインバウンド誘客促進に向けた専門人材育成セミナー
- 14日(火) 第3回意見交換会 ※交流会のみ出席
- 21日(火) 新年挨拶訪問(機構職員出向元4社、観光庁、JNTO)
- 23日(木) 定例会議・推進会議(当機構の会議)
- 24日(金) 新年挨拶訪問(機構職員出向元1社)
- 31日(金) 四国サポーターズクラブ2024総会 ※JR四国相談役として出席

後援・協賛等

事業名	主催	期間	備考(公式サイト等)
ミュージカル「坊ちゃん劇場版KANO」	坊っちゃん劇場	2023年4月1日(土)～2025年3月 予定	https://www.botchan.co.jp/production.html
「四国コンテンツ映像フェスタ2024」	四国総合通信局、四国情報通信懇談会	2024年6月20日(木)～2025年2月 予定	https://www.shikoku-ictcon.jp/scvf/
土佐の「おきゃく」2025	土佐の「2025」推進会議	2024年11月18日(月)～2025年3月9日(日)	https://tosa-okyaku.com/
第18作「新 鶴姫伝説～鎧に白い花を～」	坊っちゃん劇場	2025年2月3日(月)～2026年3月 予定	4月上演開始予定

2月以降の主な予定表

区分	2月	3月
マーケティング(国内)	ANA誘遊四国キャンペーン(10月～3月) ● 四国「持続可能な観光」推進ネットワーク会議(2月14日/愛媛)	サイクルモードライド大阪2025(3月1～2日/大阪)
マーケティング(国際)	● JNTO香港マーケット研究会(2月4日/オンライン)	
ブランディング		理事会・臨時社員総会(3月24日/香川) ●

(一社) 四国ツーリズム創造機構
事業推進本部 ブランディングチーム 神野、藤井
TEL : 087-813-0431 FAX : 087-813-0312
Facebook <https://www.facebook.com/t.shikoku>
Instagram <https://www.instagram.com/shikokutourism/>



SHIKOKUTOURISM